

2026 年 9 月 30 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 九 州 経 済 研 究 所

最近の県内景況は、消費関連は底堅く、畜産関連が持ち直し、生産活動、投資関連は持ち直しの動きがみられる。一方で、雇用関連は横ばい、観光関連は減少している。全体として改善傾向は見られるが、熊本地震で大きな影響を受けた観光関連の回復の動きに留意する必要がある。

生産活動は、6 月の鉱工業生産指数はほぼ前年並みとなった。電子部品・デバイス、汎用・生産用機械は前年を下回ったものの、食料品、窯業・土石製品が前年を上回った。

畜産関連では、8 月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢 A5、去勢 A4、ブロイラーも肉は前年を上回った。一方、豚肉は前年をやや下回り、ブロイラーむね肉、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、8 月の乗用車新車登録台数、7 月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額は前年を上回り、8 月の軽自動車届出台数は前年を下回った。

観光関連では、8 月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2 か月ぶりに前年を下回った。種子島・屋久島地区は 7 か月ぶりに前年を下回り、奄美地区は 2 か月ぶりに前年を下回った。主要観光施設入場者数は、多くの調査対象施設で前年を下回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回ったものの、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、7 月の有効求人倍率は前月と同じ 1.02 倍となった。

【生産活動】... 持ち直しの動き

6月の電子部品・デバイスの鉱工業生産指数は前年を下回った。一方、スマートフォンやデータセンター向けの半導体が順調に推移しているなど、受注は回復している。

7月の焼酎生産は、2か月連続で前年を大幅に上回った。未納税移出は前年を上回ったものの、県内、県外への出荷は前年を下回り、出荷量は2か月ぶりに前年を下回った。

7月のかつお節生産は、10か月連続で前年を下回った。

8月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが2か月連続で前年を上回ったものの、民間工事向けは2か月ぶりに前年を下回り、全体では前年をやや下回った。

8月の紙パルプ生産は、6か月連続で前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

【畜産関連】... 持ち直し

8月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。8月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5は13.7%増、去勢A4は19.3%増となり、ともに前年を上回った。7月の枝肉生産量は前年をやや下回った。

8月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、0.6%減と前年をやや下回った。7月の枝肉生産量は前年を上回った。

8月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は5.2%増と前年を上回り、むね肉は19.0%減と前年を下回った。8月の処理羽数は前年を上回った。

8月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、5.8%減と7か月連続で前年を下回った。7月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 底堅い

7月の百貨店・スーパー販売額は、飲食料品は前年をやや下回ったものの、衣料品、その他商品が前年を上回り、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

7月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアはいずれも前年を上回った。

8月の乗用車新車登録台数は、5か月連続で前年を上回った。車種別にみると、

普通車は 13.3% 増、小型車が 11.3% 減となった。8 月の軽自動車届出台数は 3 か月連続で前年を下回った。

【観光関連】... 減少

8 月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、熊本地震の影響で九州新幹線や九州自動車道などが不通になったことにより、前年を大幅に下回った。沖縄以外の地区からの国内客の入り込みが減少し、中国からの入り込みが減少した。

鹿児島地区は、国内全地区からの入り込みや中国からの入り込みが減少し、2 か月ぶりに前年を大幅に下回った。

霧島地区は、関西、中部、関東などからの入り込みが減少し、2 か月ぶりに前年を下回った。

指宿地区は、沖縄を除く国内全地区からの入り込みが減少し、2 か月ぶりに前年を大幅に下回った。

種子島・屋久島地区は 7 か月ぶりに前年を下回り、奄美地区は 2 か月ぶりに前年を大幅に下回った。

8 月の主要観光施設入場者数は、多くの調査対象施設で前年を下回った。

【投資関連】... 持ち直しの動き

8 月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

7 月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を下回った。

7 月の新設住宅着工戸数は、3 か月ぶりに前年を大幅に下回った。持家が前年を下回り、貸家、分譲は前年を大幅に下回った。一方、3 か月移動平均は前年を大幅に上回り、15.7% 増となった。

8 月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2 か月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を上回った

7 月の輸出額は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回り、全体では 46.1% 増と 12 か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を大幅に上回り、全体で 108.5% 増と 2 か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】... 横ばい

7月の有効求人倍率は前月と同じ1.02倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業は前年を上回り、卸小売は前年をやや上回り、建設業、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

7月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.9%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

8月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が5件で3か月ぶりに前年同月（8件）を下回った。一方、負債総額は9億23百万円で前年同月（7億14百万円）を上回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)